

昭島市立多摩辺中学校

校長 堀田 典子

1 教育目標

進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう

2 目指す学校像

- (1) 安心して楽しく活動できる学校
- (2) 生きる力を育む学校
- (3) 地域とのつながりを大切にする学校

3 目指す生徒像

- (1) 深く考え、主体的に学習する生徒
- (2) 思いやりのある生徒
- (3) 共に心身を鍛える生徒

4 目指す教師像

- (1) 生徒と正面から向かい合える教師
- (2) 豊かな人間性を備えた教師
- (3) 学び続ける教師

5 実践目標

- (1) 確かな学力の形成
 - ①指導法の工夫・改善を通して、基礎・基本的な内容の定着と学ぶ意欲の向上
 - ②生徒が主体的に学習に励む授業と家庭学習の充実
- (2) 自尊感情・自己有用感の高揚
 - ①豊かな体験（自他とのかかわり）を通して、自主・自律の精神及び社会性の育成
 - ②達成感の享受できる活動の実践
 - ③意図的な育成と評価（役割付与、面談・通知表所見の活用等）
 - ④「勇気づけ言葉」を意識した実践

6 令和5年度の指導重点

【教科・領域等の指導】

(1) 教科指導

- ①基礎基本の定着を図る指導方法の工夫と改善
- ②言語活動の充実を通して多様な能力育成を図る指導法の開発
 - ◎主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の実践
- ③ユニバーサルデザイン（UD）を取り入れたわかる授業の実践
 - ◎7月、12月に生徒による授業評価の実践と授業改善の推進
- ④ICT機器を活用した指導方法の工夫と改善
- ⑤課題解決に向けての主体的・協働的に学ぶ学習の実践

(2) 道徳教育

- ①教科書を主たる教材として、発問を工夫した考えが深まる道徳授業の実践

◎ 2 2 項目の道德内容、3 5 回の授業数の確保

② 全教育活動を通した人間としての生き方を深める実践

(3) 総合的な学習の時間

① 生徒が考える課題設定、課題追及方法に基づき、主体性を育成する指導の工夫

② 目標を明確にした組織的・計画的な指導実践

(4) 特別活動

① 主体性を伸長する生徒会活動の推進

② 自主自律を促す生徒による行事の運営、生徒主導で動ける体制づくり

【生活指導】

(1) 主体性を育成する「攻める」生活指導の確立

① 全ての生徒が安心して生活できる環境を作るための組織的指導の実践

② いじめを許さない学校づくりのための早期発見・早期対応と未然防止への実践

③ 自治能力の育成を図る生徒会活動の充実

④ 自尊感情と自己有用感の高揚を図る生徒一人一人への組織的支援

(2) 組織的指導に基づく基本的生活習慣の確立

① 自ら挨拶のできる生徒、自ら時間の守れる生徒の育成

② 集団生活の基本的ルール（人権侵害・暴力等）における毅然たる指導

③ 正義の通る集団、指示の通る集団作り

(3) 教育相談体制

① カウンセリングマインドに基づく生徒一人一人への適切な対応

② SC・SSW、外部機関との積極的な連携

(4) 保護者・地域との協働

① 奉仕活動・地域行事等への積極的な参加

② 家庭・地域に向けた学校理解を促進する広報活動、交流活動の推進

【進路指導】

(1) 将来の生き方を考える指導の工夫と改善

① 主体的に将来の生き方を考える指導の工夫と改善（キャリアパスポートの活用）

② 一貫性のある組織的進路指導の確立

(2) 進路選択能力の育成

① 3年間を見通した計画と実践

② 卒業後の円滑な進路選択に向けた情報整理と指導の充実

（高校の先生の話聴く会、進路保護者説明会等）

(3) 主体的に生きる基盤となる学力向上

① 質問教室（定期テスト前）長期休業中の補習による基礎・基本の定着に向けた取組

② 長期休業明けの確認テストの実施と結果に応じた学習支援

【健康・安全・食育指導】

(1) 体育的活動における事故防止

① 保健体育授業・部活動における事故の予見（WBG T計測等）、不適切な指導の根絶

② 施設・備品の適正な管理点検による事故の未然防止

③ 事故発生時の的確な判断、迅速・適切な対応

(2) 学校内外での事故防止

① 交通事故防止に向けた安全教育の徹底

② 不審者被害防止に向けた予防指導の推進

(3) 防災教育

① 多様な避難訓練による「命を守る力」の育成（月1回実施）

② 地域と連携した校内防災体制の整備（災害発生時、避難所開設時）

(4) 保健管理・保健指導

① 保健計画に基づく適正な指導の実践

② 定期健康診断等を活用した健康教育の推進

③ 毎日の健康観察と感染症等、疾病に対する関係諸機関との円滑な連携

(5) 食育

① 食への感謝とマナーの育成を図る給食指導

② 望ましい食習慣、食生活を向上させる指導の工夫・改善

【特別支援教育】

(1) 生徒一人一人に対して、適切な指導及び必要な支援についての組織的な探究と実践

- ①特別支援委員会の活性化
- ②学校生活支援シート、個別指導計画の作成と実践と検証
- ③特別支援学級（8組）及び特別支援教室（しらすぎ教室）の個別のニーズに応じた支援の実践
- ④支援員を活用した個別の対応
- (2) 「様々な人が生き生きと活躍できる共生社会の形成」の基礎となる実践
 - ①通常の学級と8組の交流活動の推進
 - ②特別支援教育啓発授業の実施
- (3) SC・SSWや外部機関との連携
 - ①保護者、家庭の支援も視野に入れた外部機関との連携

【研修・研究】

- (1) 授業力の向上
 - ①研修委員会中心の研修会の実施
 - ②管理職による授業観察（最低年2回：1学期、2学期）
 - ③専門性を向上させる研修への参加（最低年1回以上）
 - ④指導教諭の模範授業を活用したOJTの実施
 - ⑤「UDの視点」「話し合い活動」「生徒の主体的な活動」等を大切に授業実践

【服務】

- (1) 教育公務員としての、全体の奉仕者としての立場の再認識
- (2) 体罰、交通事故、わいせつ行為、不適切な指導等、信用失墜行為の禁止
- (3) 個人情報管理、会計管理の徹底と適正な事務処理

7 アンケート結果等を踏まえた教育計画の改善

(1) 生徒による授業評価アンケート

7月の結果を踏まえ、授業改善推進プランを作成・実施し、12月に検証と授業改善を実施「4・はい」の回答目標

質問項目	到達目標
先生は、授業の目標、1時間の流れを伝えてくれていますか。	80%
先生は、授業のまとめ、振り返りをしてくれていますか。	60%
先生の授業は楽しいですか。	70%
先生の授業は、わかりやすいですか。	70%
授業で、わかった、できたという達成感、満足感はありますか。	60%
先生は、生徒の「考え」「活動」「頑張り」を認めてくれていますか。	70%
自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	60%

(2) 生活自己評価アンケート

7月の結果を踏まえ、進路学習部・生活指導部で改善案を作成・実施、12月に検証と改善を実施「4・はい」の回答目標

質問項目	到達目標	昨年の12月の結果
普段の家庭学習時間は、平均3時間以上である	10%	8組8.3%、1年4.5%、2年3.7%
普段の家庭学習時間は、平均2～3時間未満である。	20%	8組4.2%、1年14.6%、2年12.2%
普段の家庭学習時間は、平均1～2時間未満である。	30%	8組25%、1年36%、2年35.4%
学校生活がとても充実、だいたい充実している。	90%	8組92%、1年78%、2年85%
チャイム着席が、学期を通してほぼ守れた。	75%	8組25%、1年46.1%、2年70.4%
朝読書で、学期を通してほぼ毎日、本を読んだ。	75%	8組41.7%、1年56.2%、2年78%
行事・委員会・係活動などに、自ら積極的に参加した。	75%	8組41.7%、1年65.2%、2年75.6%

「勇気づけ言葉」の活用について

1 発語タイプによる生徒の分類

(1) 肯定的発語タイプの生徒

あいさつができる。クラスでプラス発言ができる。友達を励ます。場を盛り上げる。

(2) 否定的発語タイプの生徒

あいさつができない。ひやかす。からかう。けなす。友達を傷つける。マイナス発言をする。

2 発語タイプの傾向

(1) 肯定的発語タイプの生徒は⇒家族、教員から、勇気づけ言葉の経験が多い。

(2) 否定的発語タイプの生徒は⇒生まれた時から勇気づけ言葉の経験が少ない。勇気くじき言葉をかけられる経験が多い。

3 勇気づけ言葉

- | | |
|---------------------------------|---------|
| (1) おはよう、さよなら、じゃあね、またあしたね | などの 挨拶 |
| (2) がんばれ、応援しているよ、自分らしくね、あせらずいこう | などの 激励 |
| (3) ありがとう、とてもたすかったよ、 | などの 感謝 |
| (4) すごい、すばらしいね、 | などの 賞賛 |
| (5) わたしもそうおもうよ、おなじだね、 | などの 支持 |
| (6) よかったね、やったー、(一緒に) | などの 共感 |
| (7) だいじょうぶ? | などの 気遣い |

4 勇気くじき言葉

- | | |
|--|------------|
| (1) 小学生か、しょぼいな、 | などの からかい |
| (2) ○○さんは～なのに、○○さんを見習いなさい | などの 他者との比較 |
| (3) どうしてそんなことをするの?これができないの? | などの 能力の否定 |
| (4) (自分はがんばっていると思っている生徒に対して) もっと、がんばりなさい | などの 過度の激励 |
| (5) いくらがんばってもこの成績ではね、意味ないね | などの 結果の重視 |
| (6) もうしらない、かってにしなさい、 | などの 拒絶 |
| (7) (意見や希望をきかず) そんなんじゃだめ、～しろ | などの 強制・命令 |
| (8) おそい、いつまで～しているんだ | などの せきたて |

5 本校の実践

悪いことは悪いと毅然と示し、支援・指導を行います。そして、勇気づけ言葉による言葉掛けを日常的に行っています。教職員だけではなく、全校生徒にも元気に、明るく、困難にも立ち向かえる成長を目指して、「勇気づけ言葉の励行」「支え合い高め合える集団作り」を推進してまいります。

今年度もどうぞよろしく願いいたします。